

2023年度 つむぎ府中ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

| | | 質問内容 | 平均スコア (最大スコア5) | 改善策・ご意見への対応について |
|----------|---|---|---|---|
| 業務改善について | Q2 | 入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。 | 4.3 | ご利用者さまによりご満足いただけますよう、今後ともルーム全体の清掃及び整理整頓に努めてまいります。 |
| | Q3 | 業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。 | 4.4 | スタッフ全員がしっかりと休憩を取るよう努めてまいります。 |
| | Q4 | 保護者様にアンケート調査等を行い、保護者様の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。 | 4.3 | 保護者様からのご希望やご意見を真摯に受け止め、スタッフ全員で話し合い、業務改善に努めてまいります。 |
| | Q5 | スタッフの資質、支援スキル向上のため研修の機会を確保しているか。 | 4.3 | 研修参加を含め、スタッフ同士で学び合える環境づくりに今後も努めてまいります。 |
| | Q6 | 業務改善について、ご意見をお聞かせください。 | | スタッフ同士が気持ちよく話し合える環境をつくり、業務改善に努めてまいります。 |
| | 適切な支援の提供について | Q7 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。 | 4.3 |
| Q8 | | グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。 | 4.1 | 支援の前には必ず個別支援計画書を確認しております。今後とも、支援目標をしっかり把握しながらよりより豊かな支援に努めてまいります。 |
| Q9 | | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 4.4 | お子さまから「やってみよう」という挑戦する気持ちや「楽しい」気持ち、そして笑顔を大切にしながら、いろいろなプログラムをご提供できるように努めてまいります。 |
| Q10 | | プログラム開始前にはスタッフ間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。 | 4.6 | グループ支援当日はスタッフ全員でミーティングを行い、プログラムの内容や安全確認、配慮事項、役割分担などを確認しております。 |
| Q11 | | 支援終了後には、スタッフ間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。 | 4.4 | 支援後には必ずスタッフで振り返りを行っております。気づいた点やエピソードなどを共有しながら、次の支援に繋げてまいります。 |
| Q12 | | 日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。 | 4.4 | 支援終了後に、支援内容やお子さまの様子を記録しております。支援内容などの検討を重ね、次回の支援に繋がるように努めてまいります。 |
| Q13 | | 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていないか。 | 4.7 | 個別支援計画書の更新前々月に保護者様にモニタリングを行い、更新前月に新たな個別支援計画書の説明をしております。支援内容を保護者様と共有して豊かな支援に繋げてまいります。 |
| Q14 | | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など) | 4.3 | お子さまの生活がより豊かになるように表現活動や戸外活動、畑仕事などを提供しております。今後とも、お子さまの「やってみよう」を大切にしながら複数の支援を組み合わせ提供してまいります。 |
| Q15 | | 適切な支援の提供について、ご提案をお聞かせください。 | | スタッフ間の連携を強化するための仕組みづくりについて検討いたします。スタッフ全員でお子さまを支援させていただくので、口頭だけでなく、支援記録やケース検討会議録での共通理解により努めてまいります。 |
| Q16 | | 日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 4.0 | 支援後には活動の伝達などを含め、保護者様とお話をする時間を設けております。より一層、保護者様とのコミュニケーションを豊かにして、お子さまについての共通理解を深めてまいります。 |
| Q17 | | 所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。 | 4.1 | 保護者様からのご依頼がございましたら、所属されております幼稚園や保育園等と電話や来訪にて連携をしております。 |
| Q18 | | 児童発達支援事業所同士で連携をとり、利用児についての情報共有、相互理解に務めているか。 | 3.7 | 児童発達支援事業所同士の連携が十分とはいえない状況でございますが、昨年度より連携数は増えました。今後とも、地域の情報発信の意義もふまえ、豊かな連携につとめてまいります。 |
| Q19 | | 児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。 | 3.6 | 現在、移行先の放課後等デイサービスへの情報提供ができておりません。今後、保護者様からのご相談ご要望を取り入れながら、情報提供システムの構築に努めてまいります。 |
| Q20 | | 児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。 | 4.0 | 今年度、府中市子ども発達支援センターあゆの子開催の研修に3回参加しております。今後も積極的に連携に努め、研修や助言を受けてより豊かな支援に努めてまいります。 |
| Q21 | 地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。 | 3.7 | 今年度、府中市社会福祉協議会主催の府中市児童発達支援連絡会に参加しております。地域連携に向け、今後も積極的に参加してより豊かな支援に努めてまいります。 | |
| Q22 | 障害の有無にかかわらず、子ども同士が関わる機会を設けているか。 | 4.1 | 北島体験農園にいらしているお子さま、公園で出会ったお子さまとの関わりなど、活動の際に出会った地域のお子さまとの関わりを大切にしております。 | |
| Q23 | 事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。 | 3.6 | 昨年度に引き続き、地域の方をルームにご招待する企画がございません。引き続き、実施可能となり得る内容を検討してまいります。 | |
| Q24 | 保護者様の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者様の状況に合わせた適切な支援を行っているか。 | 4.1 | 日頃、保護者様とお話や関わりの中で、保護者様の対応力の向上を図る支援を引き続き努めてまいります。 | |
| Q25 | 関係機関や保護者様との連携について、ご提案をお聞かせください。 | | 保護者勉強会を定期的に実施できるように努めてまいります。また、関係機関と連携を図った際は、その内容も掲示等でご報告できるように努めてまいります。 | |

2023年度 つむぎ府中ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

| | | | | |
|---------------------|------------|--|--|---|
| 保護者様やお子さまへの対応などについて | Q26 | 契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。 | 4.4 | 保護者様に安心してご利用いただけますよう、より丁寧な説明に努めてまいります。 |
| | Q27 | 保護者様からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | 4.4 | 保護者様お悩みや不安などに寄り添いながら、相談に応じ、丁寧な支援を心がけてまいります。 |
| | Q28 | 保護者様同士が集まれる場の提供など、保護者様同士の連携につながる支援を行っているか。 | 4.3 | 今後も、保護者様のニーズを把握しながら保護者様同士の連携に繋がる支援になるよう努めてまいります。 |
| | Q29 | 子どもや保護者様からご意見・ご提案があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。 | 4.6 | いただいたご意見を真摯に受け止め、スタッフ全員で対応してまいります。お子さま及び保護者様に安心して通っていただけますよう努めてまいります。 |
| | Q30 | 掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者様に対して情報を発信できているか。 | 4.4 | 毎月のグループ活動内容はルーム内に掲示してご案内をしております。体験学習など企画に関しましては、余裕をもってご案内いたしますよう努めてまいります。 |
| | Q31 | 障害のある子どもや保護者様との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど) | 4.3 | 発達や支援などの情報について、お子さまに沿った内容を分かりやすい言葉でお伝えしてまいります。 |
| | Q32 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか。 | 4.3 | 個人情報は施錠できるロッカーに保管しております。引き続き、個人情報の厳重な管理に努めてまいります。 |
| | Q33 | スタッフ同士の連携や情報共有は適切に行われているか。 | 4.3 | 朝礼や昼礼、終礼、日中のミーティングでは時間を確保してスタッフ同士の連携や情報共有を行っております。今後もスタッフの連携をより一層深めてまいります。 |
| | Q34 | 保護者様や子どもへの対応などについて、ご提案をお聞かせください。 | | 事業所内相談のご利用を定期的にご提案させていただきます。保護者さまの思いにお応えできるように努めてまいります。 |
| | 非常時の対応について | Q35 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。 | 4.1 |
| Q36 | | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。 | 4.4 | 避難訓練は毎月15日前後に行っております。お子さまや保護者様の命を守るべく、日々訓練に努めてまいります。 |
| Q37 | | 虐待を防止するため、スタッフの研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。 | 4.4 | 4月と10月にスタッフ全員で人権チェックを行っております。また虐待防止委員会を施設内に設置し、年2回虐待防止研修を実施しております。引き続き、虐待防止に向けてスタッフ全員で研修を重ね、適切な対応に努めてまいります。 |
| Q38 | | ヒヤリハット事例集を作成して、ルーム内で共有しているか。 | 4.3 | 毎日、ヒヤリハットをスタッフ間で共有しております。また、毎月自ルーム事故防止委員会を行い、スタッフ同士でヒヤリハットについて検討を重ねております。今後ともお子さまの安全に心がけてまいります。 |
| Q39 | | 非常時の対応について、ご提案をお聞かせください。 | | 室内だけでなく戸外活動中に非常災害発生を予想した訓練を強化する必要があると感じております。毎月の避難訓練後の振り返りを含め、様々な場面を想定した訓練の実施に努めてまいります。 |
| 満足度について | Q40 | 子どもは必要な支援を受けられていると感じていますか。 | 4.1 | 府中ルームに通われているお子さまや保護者様が、安心して笑顔でご利用いただけますように努めてまいります。 |
| | Q41 | つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。 | 4.4 | 多くのご利用者様から様々なご意見をいただき、感謝申し上げます。今後とも笑顔あふれるルームを目指してまいります。 |
| | Q42 | 設問事項に関わらず、ご提案などお聞かせください。 | | 保護者さまやお子さまが安心してご利用できるルームであり、そして安心して話せるスタッフであるように努めてまいります。 |

アンケート実施期間：2023年8月15日～9月5日

全回答数： 7

つむぎ府中ルーム
施設長 上田 朋子